

## 第3回オンライン講習会「ココヘリの紹介」

記録：教育遭難対策委員会 伊東春正（かがりび山の会）

開催日時：2022年11月24日 19:00～20:30

講師：AUTHENTIC JAPAN 株式会社 専務取締役 八木澤美好様  
ココヘリ事務局 大峰菜奈子様

参加：13名（申込15名 2名欠席）+事務局1名（伊東）

説明資料：千葉勤労者山岳連盟ココヘリ説明会資料.pptx

### <口頭説明>

- ・ドローン捜索隊は全国に数チームある。
- ・携帯から110番すると、警察側で位置情報を把握している。  
ただし、山の中では座標がずれることがある。
- ・ココヘリは今後、遭難救助サービスも行うことを考えている。
- ・ご紹介用クーポンコードはココヘリにログインすると5桁の数字が表示される。
- ・1人紹介あたり1,100円が次回更新時の年会費から割引される。
- ・紹介者の入会金は不要。

### <質疑応答>

<Q1>複数名での山行の場合、同行者が怪我等で動けなくなった場合でも、連絡すれば捜索対象となりますか？

やはり入会している本人が動けない場合だけでしょうか？

→ココヘリは救助はしないため、このようなケースは110番通報である。

<Q2>捜索費用550万とのことだが、何回フライトできるのか？

→目安として1時間30万、一回のフライトは3時間まで。

<Q3>年会費5500円とのことだが、自分が入っているのはSimpleプラン4015円である。

→5500円はスタンダードプランである。

シンプルプランは現在販売していないが、継続するかぎり4015円のままである。  
捜索費用550万も付加される。

スタンダードプランで貸与される発信機は、

Bluetooth通信によりIphoneから探査できる仕様である。（200m以内）

<Q4>われわれの会ではココヘリ以前のヒトココの親機1台と子機3台を購入しています。ヒトココ子機を携帯し、遭難した場合、捜索依頼できるか？

→できない。

ヒトココ子機を持っていれば、シンプルプランに加入できる（入会金は不要）  
ココヘリを搭載した警察ヘリであれば、捜索可能

（すべての警察ヘリがココヘリを搭載しているわけではない）

ヒトココは機器名称、ココヘリはサービス名称である。

<Q5>現在、ココヘリとjRO両方加入しているが、jROの更新手続きはどうなるのか？

→jRO更新時期に自動的に契約解除される。

<Q6>会として団体に加入できないか？

→ココヘリの団体加入というサービスはない、契約は個人単位である。

<Q7>われわれの会の入会条件として労山基金を2口加入としているが、

ココヘリ契約している会員はjRO保障が付加されるのな、労山基金2口の加入条件の見直しも必要になってくるが…。

→労山基金とjROとの競合は、今後表面化するかもしれない。

<Q8>労山のココヘリ捜索隊に入っており、ココヘリの親機を預かっているが、まったく活動していない（声がかからない）。

→ドローン捜索を行っている、岡山と広島では活動している。

それ以外の活動をどうするか、川嶋理事長と話し合っている。

以上